

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2022年8月24日

テーマ「Evidence-based Management の推進」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)総合企画部長
小野 宏
(総合企画部)

1. 長期戦略のテーマ

超長期ビジョン	長期戦略（テーマ名）	統轄部署
8 学校経営	(2) Evidence-based Management の推進	総合企画部

内容

経営・教学の両面において客観的データに基づくマネジメント（Evidence-based Management）を大きく進展させる。

非営利組織である学校のマネジメントにおける最大の課題の一つは、最上位のアウトカム（成果）を定め、その達成度を測る KGI や KPI を設定することにある。学院では KPI ダッシュボード等のツールを活用して「Kwansei Grand Challenge 2039」（超長期ビジョン・長期戦略）および中期総合経営計画（実施計画・基盤計画）の進捗や達成度を含めた成果を検証する仕組みを構築する。各学校および大学の各学部も、全学の KPI と連動しながら個別の状況に合わせて独自に KPI を設定し、活用する。

その前提として、急速に進む ICT を活用し、本大学の教育・研究にかかるデータと財政・人事など経営資源にかかるデータを収集・蓄積して統合し、AI も活用して分析・可視化することによって政策の立案や評価を支援するなど、経営判断に資する総合的な IR 機能を確立する。

【フェーズ I の Total Review】

- ・ KPI・KGI ダッシュボード（KGC2039 版）を作成し、理事会等にて本学全体の状況を説明するツールとして活用した。KPI・KGI は、継続して改良する必要がある。
- ・ IR 分析基盤システムの利用が開始された。

【フェーズ II に向けた課題】

- ・ 教学 IR と経営 IR の統合の検討。
- ・ 各部門の企画機能強化、各学部のカリキュラム改革・戦略的マーケティング等へのデータ利用の方策の検討

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2022年8月24日

テーマ「Evidence-based Management の推進」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)総合企画部長
小野 宏
(総合企画部)

指標 1

指標	内容					
指標名	理事会での議論の回数					
定義・算式	理事会での KGI・KPI が議論になった回数/年					
現状値 (指標設定時)	1回 (2017年)					
目標値	フェーズ1終了時 (2021年度)		フェーズ2終了時 (2024年度)		フェーズ3終了時 (2027年度)	
	2回		2回		2回	
実績値	2019年度	1回	2022年度		2025年度	
	2020年度	1回	2023年度		2026年度	
	2021年度	1回	2024年度		2027年度	

指標 2

指標	内容					
指標名	IR室へのデータ利用申請件数 (年間)					
定義・算式	IR室へのデータ利用申請件数 (年間)					
現状値 (指標設定時)	-					
目標値	フェーズ1終了時 (2021年度)		フェーズ2終了時 (2024年度)		フェーズ3終了時 (2027年度)	
	今後設定		今後設定		今後設定	
実績値	2019年度	-	2022年度		2025年度	
	2020年度	-	2023年度		2026年度	
	2021年度	-	2024年度		2027年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2022年8月24日

テーマ「Evidence-based Management の推進」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)総合企画部長
小野 宏
(総合企画部)

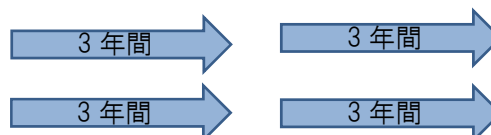
2. 実施計画ロードマップ

実施計画		担当部署	学部・研究科 での 取組み有/無	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
①	KGI・KPI の設定・活用	総合企画部	必要⇒【必須型】(全学部または全研究科での取組みが必須)	3年間			3年間			3年間		
②	(SGU4-2) IR 機能の充実と推進	総合企画部 (IR室)	必要なし	3年間			3年間			3年間		
③			必要の有無を選択ください。									
④			必要の有無を選択ください。									
⑤			必要の有無を選択ください。									
⑥			必要の有無を選択ください。									
⑦			必要の有無を選択ください。									
⑧			必要の有無を選択ください。									
⑨			必要の有無を選択ください。									
⑩			必要の有無を選択ください。									
【備考欄】												

※想定される実施計画の例示

- ① KGI・KPI の設定・活用
- ② IR 推進のための環境整備
- ③ 経営・教学を包括した IR システムの構築・運用
- ④ 関連規程の整備
- ⑤ 【DX 関連】統合 DB の構築
- ⑥ 【DX 関連】経営 IR・EMIR の強化

※ロードマップ策定作業用記号



I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2022年8月24日

テーマ「Evidence-based Management の推進」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)総合企画部長
小野 宏
(総合企画部)

3. 本長期戦略テーマの各実施計画に関する費用、人員の合計 (2019年度～2027年度)

◆フェーズⅠ：2019年度～2021年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2019年度	2020年度	2021年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅡ：2022年度～2024年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2022年度	2023年度	2024年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅢ：2025年度～2027年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2025年度	2026年度	2027年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

4. 進捗状況等記入欄

	進捗状況および今後の課題、方向性
2019年度	KGI・KPI ダッシュボード (KGC2039版) を理事会メンバーに説明・提供した。また、「二つのPDCAサイクルの統合」とあわせて、各学部・研究科における独自KPIを設定し、順調なスタートを切ることができた。
2020年度	「中期計画総括シート」を活用して、中期総合経営計画と連動しながら、学部・研究科の自己点検・評価を進めた。また、全学でのKGI・KPIの数値や取組状況を共有・評価を行い、トータルレビューにも活用して、関西学院全体の改革促進につなげることができた。
2021年度	教学データと財政・人事などの経営資源系データを収集・蓄積し、総合的に分析するIR機能の必要性は、中期総合経営計画第1フェーズのTotal Reviewでも指摘されていた。このことも踏まえ、学院総合企画会議の下に「IR推進本部」を設置し、総合的なIR推進を統轄するとともに、高等教育推進センター及び総合企画部に分散するIRの機能を、学院総合企画会議の事務局でもある総合企画部に集約し、2022年4月よりIR室を設置した。
2022年度	
2023年度	
2024年度	
2025年度	
2027年度	